

日本民衆は 10 日、平頂山大虐殺 90 周年を記念し、歴史を忘れないように呼びかけた

<https://www.fengshows.com/article/531261d2-178d-4657-b808-fe8a3a94e3d3>

フェニックス・ニュース 2022-09-11 00:00/02:10



日本民衆は 10 日、日本軍による中国民間人虐殺事件である平頂山大虐殺事件 90 周年を記念する集会を東京で開いた。中国と外国を揺るがしたこの悲劇は、日本社会ではほとんど知られておらず、日本政府は謝罪と補償を未だに拒否している。

日本の市民団体は土曜日、東京で平頂山大虐殺 90 周年を記念する集会を開いた。日本の学者が悲劇の経緯や最新の研究成果について講演した。中国ではよく知られている平頂山大虐殺は日本では認知度が低い。学者は、日本が中国侵略の歴史を避け歴史を修正する傾向を非常に心配している。

駿河台大学名誉教授の井上久士氏：「日本の高校の教科書ではほとんど触れられていませんし、普通の日本人もほとんど知りません。日本は過去を心に留めておくことによるのみ、真の友好と相互信頼の基盤を築くことができるのです。」

東京市民合唱団の、平頂山大虐殺を再現した合唱劇「再生の大地」も上演された。

「再生の地」合唱団団長の姫田光義氏：「中国人に謝罪することは、我々が直面している最も重要な問題です。」

日本で 20 年間にわたる請求訴訟を起こし、平頂山大虐殺生存者の正義を訴えた日本の弁護士は、訴訟の経過と困難について語った。2016 年、日本の最高裁判所は、最終審と

して生存者の請求を却下したが、平頂山大虐殺の事実は司法判断した。しかし、日本政府はこれまで、無差別殺人の事実を認めず、謝罪もしていない。

平頂山事件訴訟弁護団の弁護士 大江京子氏：「平頂山事件の歴史から学んだ教訓を踏まえ、日中共同宣言の精神を再確認し、武力による問題解決をしてはなりません」。

今日会場に来た人たちの間では、日本社会が歴史的事実に目を瞑ってしまえば、歴史を反省したり歴史の教訓に学ぶことはまったくできないというコンセンサスがあります。しかし、私たちはまた、会場に来た主に高齢者たちが次の世代に歴史の真実を伝える方法について、まだ大きな課題であることを観察しました。